



令和5年3月発行

やわらかく暖かい日差しが心地よく感じられる春の季節になりました。早いもので今年度も残すところあとわずかとなり、皆さまも新年度の準備に向けて慌ただしい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、看護キャリア開発センターでは1～3月は、看護学生のキャリア支援、特定行為研修や関連行事を行いましたので、その一部をご紹介します。

看護師のジョブシャドウイングを実施しました

学生が働く看護師に密着同行し、仕事を間近で観察して学ぶという、ジョブシャドウイングを実施しました。この取り組みは、今年度初めての開催で、保健看護学部3年生16名の参加がありました。

3日間の日程で、1日目は看護師長、2日目はリーダー、3日目はPNSメンバーをロールモデルとし、看護管理やリーダーシップ、メンバーシップの実際を観察して学びました。実習や講義だけでは知ることができなかった師長やリーダーの役割を知ることができ、目から鱗だったようです。とても楽しそうに学びを語ってくれていたのが印象的でした。

また、息つく暇もなく動き回りながらも、同時進行でテキパキ仕事をこなしていく看護師の姿を見て、この職業へのやりがいを感じ、就職後のイメージができたようです。学生の中には、今回のシャドウイングで理想の看護師像を考

ることができた人もいました。

就職を検討する前の学生にとって、とても貴重な経験になりました。

非常にお忙しい時期でしたが、この企画にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

師長さんって、いつもあのお部屋で何をしているんだろう...

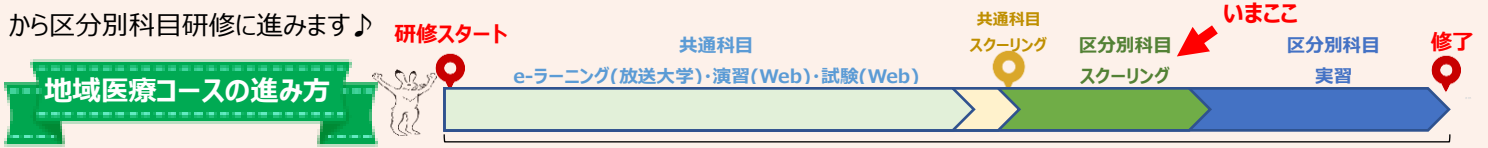
Before



After

<特定行為研修> 地域医療コース7期生が共通科目研修を終了しました

今年度、4月から受講中の7期生は12名です。1月に共通科目の集合研修を実施しました。全員がOSCEをクリアし、次年度の4月から区分別科目研修に進みます♪



地域医療コースの進み方



<特定行為研修> 急性期医療コース1期生が修了式をむかえました

院内看護師向けに今年度新たに開講した「急性期医療コース」の1期生7名は、3月10日に修了式を迎えました。

急性期医療コースは共通科目の履修期間を半年間に凝縮し、残りの半年で区分別研修を履修する1年間のコースです。全員期間内に臨地実習(1つの特定行為につき5症例)も見事に成し遂げました! 附属病院内で実習することで、院内の複数の医師から直接指導を受けることができ、より実践的な学びが得られました。

修了生は「中心静脈カテーテルの抜去」「直接動脈穿刺法による採血」「橈骨動脈ラインの確保」の3つの行為を実践することが可能になりました。特定行為の実践だけでなく、研修での学びを活かし活躍することで、より良い看護の実践に繋がることが期待されています♪



井馬さん、小島さん、波元さん
宇田さん、岡本さん、川股副院長、柳瀬看護部長、塚本さん、平山さん



川股副院長より
修了証書を受け取りました

来年度も急性期医療コース開講します!

どんな研修か気になる方はこちらをご覧ください。1期生の研修風景が動画で見られます♪
コチラ→→



特定行為研修に興味がある方は、お気軽に看護キャリア開発センターまで!

(場所は4F 看護支援室のおとなりです)

【内線】3276

【メール】kango-c@wakayama-med.ac.jp

